

2025年度 JTA ルールブック 主な変更点

規則30 コーチング (P23、31、141)

JTAによって許可されている場合に限り、コート外からのコーチング(オフコートコーチング)は、次の通りとする。

- ・コーチングは**チェアアンパイアの付く試合にのみ**適用される。
- ・大会発行のIDを身につけ、**選手が認めた人が指定されたコーチ席**からのみ許可される。
- ・**ポイント間、エンドチェンジ、セットブレイク**、およびJTAに許可されたその他のタイミング(ポイントのプレー中を除く)に許可される。

- * 以下の場合に限り、プレーヤーは**コーチに近づいて会話**をすることが許可される。
 - ・対戦相手の**メディカルタイムアウト**中(トレーナーを待つ時間や診察中を含む。)
 - ・対戦相手が**トイレブレイク**をとっているとき。
 - ・**ヒートルール**による10分間の休憩の**最後の90秒間**。
 - ・その他、主審の認めた一時的な中断時

- ・ポイント間のオフコートコーチングおよびオンコートコーチングは、**コーチとプレーヤーが同じエンド**にいる場合は**言葉またはハンドシグナルで手短でかつ控えめ**行う。コーチとプレーヤーが**違うエンド**にいる場合は**ハンドシグナルのみ**。
- ・コーチの言葉によるコーチング、ハンドシグナル、ジェスチャーが、プレーの妨げになったり、対戦相手の妨害になったりする場合は、**コードバイオレーション(コーチング)**の対象となる。

メディカルタイムアウト(MTO)の手順 (P.124)

1 試合中、筋ケイレンに対して 2 回まで、エンドチェンジまたはセットブレイクの時間内で**メディカルトリートメント**を受けることができる。その 2 回は連続していても良い。

ただし、診断をした回はこの 2 回に含まない。

コードオブコンダクト 服装と用具のコード (P136、137)

女子のロゴの大きさや数について、ITF のルールに合わせて変更した。男女共通が増えた。ロゴ図を参照。

ラインアンパイアの仕事 (P.190)

6. 選手が**トイレブレイク**を取る時は、チェアアンパイアの指示に従い、選手に同行する。選手が**トイレ以外**の行為(携帯電話を使用、コーチと会話、トイレを使用しないなど)をした場合は、**規則に違反していることを伝え、止めるよう要求する。コートへ戻ったらチェアアンパイアに報告をする**。同行するラインアンパイアが異性の場合は**トイレ入口の外で待機しトイレ内へ立ち入らない**。

7. **チェアアンパイアが目撃していないコード違反を目撃した場合は、直ちにチェアアンパイアへ報告する。**

セルフジャッジの方法 (P.195)

12 「フットフォール」のコールをする権利者は**レフェリー(アシスタントレフェリー)**、**ロービングアンパイア**のいずれか。

レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアの仕事 (P.196)

3) スタートオブマッチに従って、ウォームアップの前に、プレーヤー・チームの名前、ウェアを確認し、**フットフォールはコート内外からコールできることをプレーヤーに伝え**トスをする。

・規則30 コーチングについての変更点についてですが、西濃・大垣テニス協会主催大会はJTAとは関係が無い大会ですので今回の変更によりコーチングが可能になる事はありません。今まで通りコート外よりコーチングと思われる行為が行われた場合、コードバイオレーションを課され、該当選手に1回目:警告→2回目以降:失点となります。

(※西濃杯団体戦、春・秋季西濃女子クラブ 対抗については監督がコート内でのコーチングを可としています。)

注：決勝3セットマッチにおけるトイレットブレイクをとる際は必ず大会運営に声を掛け帯同するようにしてください。(トイレへの往復の最中に他者よりコーチングと思われる会話・行為を取り締まる為)

・服装規定についての変更点は別紙を参照ください。
おおきな変更はないようですが細かい記述が追記されています。 昨年・本年の資料を添付しますので比較確認をお願いします。

・セルフジャッジの方法

12)-C 「フットフォルト」は**コート内**にいるレフェリー、ロービングアンパイアのいずれか。→
「フットフォルト」はレフェリー、ロービングアンパイアのいずれか。 というように「**コート内**にいる」の文言がなくなりコートの外からもコールできるようになりました。以前のようにレフェリー・ロービングアンパイアを呼んでコート内でジャッジするのではなく、試合中コート外からコールが可能となりました。よって試合中にコート外から「フットフォルト」とコールされる可能性がありますのでご注意ください。
・ファーストサーブ時にフットフォルトのコールをされたら→セカンドサーブとなり、セカンドサーブ時にフットフォルトのコールをされたら失点となります。

※補足：今まで通りセルフジャッジの大会において試合中の選手はレフェリーまたはロービングアンパイアを呼んでコート内でのフットフォルトのジャッジを依頼できます。

(本件に関しては不透明な部分もありますので今後ルールブックに変更追記されるようなことがありましたらお知らせ致します。)

※西濃・大垣テニス協会主催大会においては下記のように致します。

コート外にいる観客・試合中の選手の関係者等がレフェリー・ロービングアンパイアを呼んでコート外からフットフォルトのコールをするよう依頼することは試合中の両選手に対し公平性を欠きますので不可とさせていただきます。

またロービングよりコート外よりフットフォルトをコールされたコートの選手と隣のコートの選手が同じタイミングでサーブを打って自分がコールされたと勘違いをしてプレーを止めてしまった場合はポイントレットとしてやり直し(ファーストサーブ)とします。

(上記部分については西濃・大垣テニス協会主催大会以外では違う対応かもしれませんので気になる方は大会運営にご確認ください。)

コード オブ コンダクト (JTA 公式大会共通)

シャツ セーター 上着	男子	両方の袖それぞれに39cm以内のコマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを2つ。コマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを39cm以内の1パッチに2つまで付けられる。文字のない製造業者ロゴは77.5cm以内で1つでも複数繰り返しても袖またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。
	女子	両方の袖それぞれに26cm以内のコマーシャルロゴと26cm以内の製造業者ロゴを各1つ。文字を入れてもよい。文字のない製造業者ロゴは77.5cm以内で1つでも複数繰り返しても袖またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。
	男子	袖なしシャツの前身頃には39cm以内の製造業者ロゴまたはコマーシャルロゴを2つ。前身頃と襟に1つだけの場合は、後ろ身頃に26cm以内の製造業者ロゴを1つ付け加えてよい。そのロゴには文字も許される。
	女子	袖なしシャツの前身頃には26cm以内のコマーシャルロゴを2つ。文字を入れてもよい。
ショーツ スカート パンツ	男子	13cm以内の製造業者ロゴを前後どこでも2つ、または26cm以内の製造業者ロゴを前に1つ後ろに1つ。文字を入れてもよい。コンプレッションショーツ・コンプレッションスリーブには13cm以内の製造業者ロゴを2つ、または26cm以内を1つ。
	女子	13cm以内の製造業者ロゴを前後どこでも2つ、または26cm以内の製造業者ロゴを1つ。レギンスには13cm以内の製造業者ロゴを1つ。太ももの中央よりも長い丈のレギンスは、スカートやパンツ類にのみ着可。その場合は、13cm以内の製造業者ロゴを2つまたは26cm以内の製造業者ロゴを1つ。
ワンピース		ウエストから上部はシャツ、下部はスカートと見なす。
ソックス シューズ	男子	製造業者ロゴの大きさと数に制限はない。
	女子	数に制限はないが、ソックスの製造業者ロゴの大きさは13cm以内。文字を入れてもよい。
ラケット		フレームとストリングへの製造業者ロゴは大きさと数の制限はない。
帽子 ヘッドバンド リストバンド マスク	男子	帽子・ヘッドバンドは26cm以内の製造業者ロゴを1つ。26cm以内のコマーシャルロゴ1つは頭部の側面につける。リストバンドとマスクは26cm以内の製造業者ロゴを1つ。
	女子	帽子・ヘッドバンドは19.5cm ² 以内の製造業者ロゴを1つ。19.5cm ² 以内のコマーシャルロゴ1つは頭部の側面につける。リストバンドとマスクは19.5cm ² 以内の製造業者ロゴを1つ。
バッグ タオル その他 装備品 及び道具類	男子	テニス製品製造業者ロゴは数と大きさに制限なし。バッグ1つに39cm以内のコマーシャルロゴの使用可。ATPラインの入ったラケットバッグの使用可。
	女子	テニス製品製造業者ロゴは数と大きさに制限なし。バッグ1つに26cm以内のコマーシャルロゴを2つ。

コード オブ コンダクト (JTA 公式大会共通)

JTA女子服装規定

C=コマーシャルロゴ M=製造業者ロゴ
2sq=13cm 3sq=19.5cm 4sq=26cm 6sq=39cm 12sq=77.5cm

シャツ
袖なしシャツ
スカート/ショーツ/レギンス
リストバンド
レギンス(重ね着の時)
帽子
マスク

JTA男子服装規定

シャツ
ショーツ
コンプレッションショーツ/スリーブ
リストバンド
帽子

コード オブ コンダクト (JTA 公式大会共通)

シャツ セーター 上着	男子	両方の袖それぞれに39cm以内のコマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを2つ。コマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを39cm以内の1パッチに2つまで付けられる。文字を入れてもよい。文字のない製造業者ロゴは77.5cm以内で1つでも複数繰り返しても、各袖に製造業者ロゴがない場合は袖に、またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。
	女子	両方の袖それぞれに39cm以内のコマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを各2つ。コマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを39cm以内の1パッチに2つまで付けられる。文字を入れてもよい。文字のない製造業者ロゴは77.5cm以内で1つでも複数繰り返しても、各袖に製造業者ロゴがない場合は袖に、またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。
	男子	袖ありシャツの前身頃または襟に39cm以内の製造業者ロゴを2つ。前身頃または襟に1つだけの場合は、後ろ身頃に26cm以内の製造業者ロゴを1つ付け加えてよい。文字を入れてもよい。
	女子	袖なしシャツの前身頃と襟には39cm以内のコマーシャルロゴまたは製造業者ロゴを4つ。ただし、前身頃には最大3つ、そのうちコマーシャルロゴは2つまで。また、前身頃と襟にロゴが3つの場合、後ろ身頃に26cmの製造業者ロゴ1つ。この場合もコマーシャルロゴは2つまで。文字を入れてもよい。
ショーツ スカート パンツ	男子	13cm以内の製造業者ロゴを前後どこでも2つ、または26cm以内の製造業者ロゴを前に1つ後ろに1つ。コンプレッションショーツには13cm以内の製造業者ロゴを2つ、または26cm以内を1つ。文字を入れてもよい。
	女子	13cm以内の製造業者ロゴを前後どこでも2つ、または26cm以内の製造業者ロゴを前に1つ後ろに1つ。太ももの中央よりも長い丈のレギンスをスカートやパンツ無しで着用する場合は上記ロゴをつけることができる。スカート/パンツと重ね着をするレギンスやコンプレッションショーツには13cm以内の製造業者ロゴを2つ、または26cm以内を1つ。文字を入れてもよい。
ワンピース		ウエストから上部はシャツ、下部はスカートと見なす。
ソックス シューズ	男女共通	製造業者ロゴの大きさと数に制限はない。
ラケット		フレームとストリングへの製造業者ロゴは大きさと数の制限はない。
帽子 ヘッドバンド リストバンド コンプレッションスリーブ	男女共通	帽子・ヘッドバンドは26cm以内の製造業者ロゴを1つ。26cm以内のコマーシャルロゴ1つは頭部の側面につける。リストバンドは26cm以内の製造業者ロゴを1つ。コンプレッションスリーブは13cm以内の製造業者ロゴを2つまたは26cm以内の製造業者ロゴ1つ。
バッグ タオル その他 装備品 及び道具類	男子 女子	テニス製品製造業者ロゴは数と大きさに制限なし。1つのバッグに39cm以内のコマーシャルを2つ。男子はATPラインの入ったラケットバッグの使用可。

コード オブ コンダクト (JTA 公式大会共通)

JTA女子服装規定

C=コマーシャルロゴ M=製造業者ロゴ
2sq=13cm 3sq=19.5cm 4sq=26cm 6sq=39cm 12sq=77.5

シャツ/上着
袖なしシャツ
スカート/ショーツ/パンツ/レギンス
レギンス(重ね着の時)
リストバンド
帽子

JTA男子服装規定

シャツ/上着
ショーツ
コンプレッションショーツ